

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00-12:00,
 〒502-0017 岐阜市長良雄穂878-16
 IP Tel: 058-295-9545
 FAX: 058-296-3903
 E-mail: zazendoh@ccn.sitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/

第130号 2015.1.1.
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介



新年が実り多い年でありますように

松井英介

新しい年の初めに、目を見張るようなドイツの動きをご紹介します。

まずは、ヨーロッパ最大の電力エネルギー企業であるドイツのエー・オン (E.ON) が、原発から撤退し風力・太陽光など再生可能エネルギーを主力にすることを表明したのです。11月30日に突然発表されたこのニュースは、ドイツ国内はもとより、世界中を駆け巡り、12月1日には同社の株は4.2%値上がりしたといえます。

大切なのは、同社をしてこの歴史的な決定に踏み切らせたのが、市民の力だったことです。

チェルノブイリ事故後「自然エネルギー社会を子どもたちに」の想い込めて黒い森の住民たちが始めたシェーナウが有名ですが、今では市民が運営する小さな電力会社がドイツ各地に無数にでき、2014年上半年電力供給統計で28.5%を占めるまでになっています。大手電力会社はこの新しい波に乗り遅れたのです。詳細は「世界」2月号梶村太一郎論文をご参照下さい。

市民が創ったといえば、ベルリンの市民運動が掘り起こしたナチス第三帝国の本拠地跡に作られた博物館がよく知られています。Topographie des Terrors (直訳すると、テロの地勢図) と名付けられたこの広大な博物館には、連日多くの若者たち子どもたちを含む人びとがやって来て、自らの過去と向き合おうのです。入場無料。

これに加えて特筆すべきは、昨年2014年9月にAktion T4 (T4作戦) の野外記念広場がベルリン・フィルハーモニーの玄関に隣接するティアガルテン通4番地にオープンしたことです。人間の価値がないとして20万人もの障害者や精神病者・子どもを選別し、死に追いやったナチスのEu-Aktion、Euthanasie安楽死作戦について詳しく知ることができます。医師たちが重要な役割を担いました。展示は夜間照明付き。ベルリン・フィル前のバス停には、大きな写真つき案内パネル。国立のこの施設へは年中24時間誰でも自由に立ち入ることができ、自分の過去・現在・未来を考えることができます。障害をもった人びとや子どもへの配慮も行き届いています。



Aktion T4,
Eu-Aktion:
Euthanasie
安楽死作戦記念広場、
奥はベルリン・フィル



Topographie
des Terrors
(テロの地勢図)
右はベルリンの壁跡